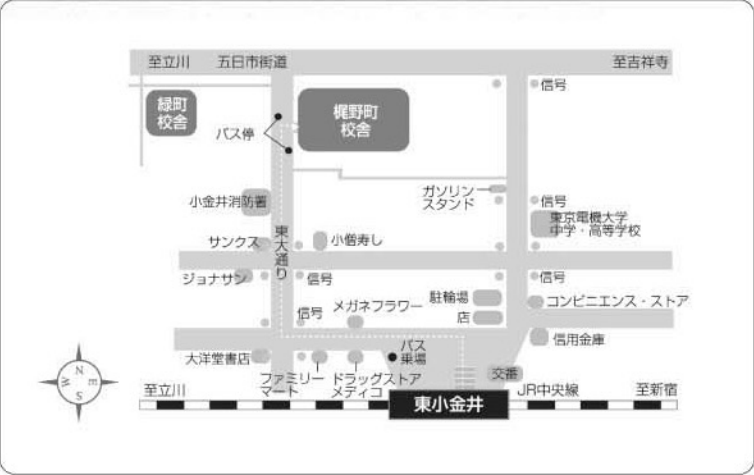
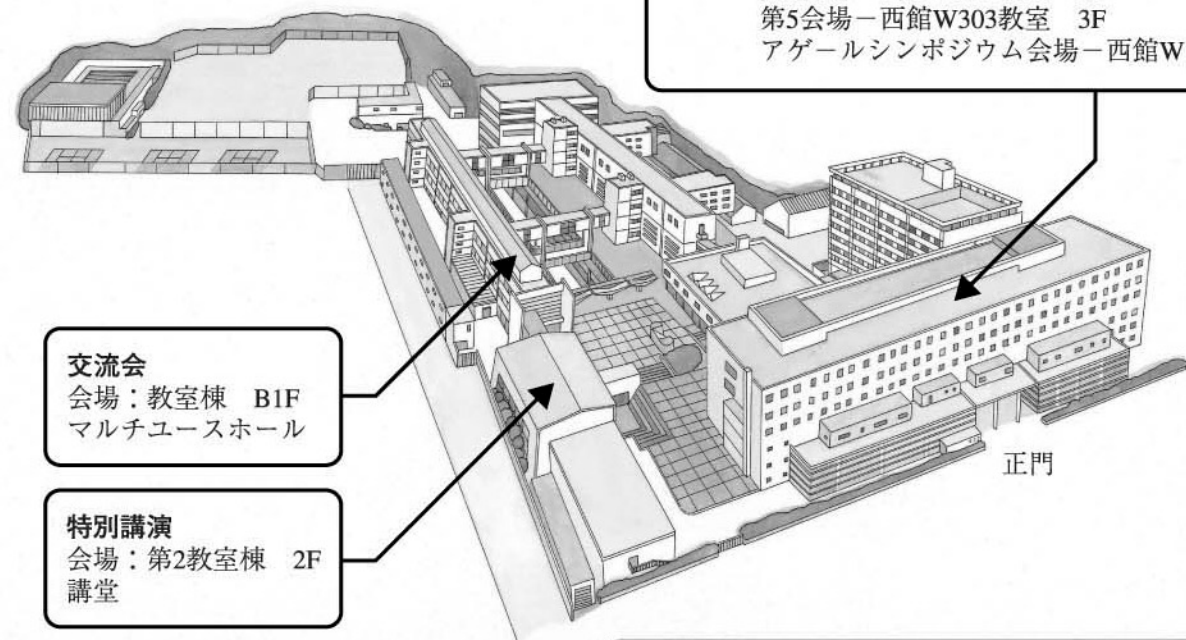


会場マップ

法政大学 小金井キャンパス梶野町校舎

国際セッション、一般講演会、河川災害シンポジウム、アゲールシンポジウム

会場：第1会場－西館マルチメディアホール B1F
第2会場－西館W202教室 2F
第3会場－西館W203教室 2F
第4会場－西館W213教室 2F
第5会場－西館W303教室 3F
アゲールシンポジウム会場－西館W103教室 1F



●小金井キャンパスへの主なターミナルからの交通アクセス



※ ●内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表します

第51回水工学講演会
2007年3月6日[火]－8日[木]

第51回水工学講演会を下記のように開催致します。奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

1. 主催：土木学会(担当:水工学委員会)
2. 開催期日：2007年3月6日(火)－8日(木)
6日(火)開会式・一般講演・国際セッション・アゲールシンポジウム・河川災害に関するシンポジウム
7日(水)一般講演・国際セッション・特別講演会・交流会
8日(木)一般講演・国際セッション・閉会式
3. 会場：法政大学小金井キャンパス
(〒184-8584 小金井市梶野町3-7-2)
(1) 講堂(第2教室棟2F)
○特別講演「水文観測－歴史と現状、ならびに将来の展望－」木下武雄
○特別講演「ADCP(超音波流速計)によりうかがわれる洪水時の流れ構造」木下良作
(2) 西館
○河川災害に関するシンポジウム(B1F,マルチメディアホール)
○アゲールシンポジウム(1F,W103教室)
○一般講演, 国際セッション
第1会場：マルチメディアホール(B1F)
第2会場：W202教室(2F)
第3会場：W203教室(2F)
第4会場：W213教室(2F)
第5会場：W303教室(3F)
開会式・閉会式はともに第1会場(国際セッションの会場)で開催されます。
(3) マルチユースホール(教室棟B1F)
○交流会
4. 参加方法：参加無料・自由参加(事前申込みは不要です,当日会場へ直接ご来場下さい)

5. 論文集：
論文はCD-ROMに収録され,頒布されます(今回から論文要旨集は廃止されましたのでご留意下さい)。
2月21日までに水工学論文集をお申し込み頂きましたら,会期前までにお届け致しますのでできるだけ事前購入をお願いします,また,会場でも販売致します,事前購入申込み方法は,ホームページ
(URL:<http://www.jsce.or.jp/committee/hydraulic/hydr.html>)からお願いします。

6. 発表時間：
一般講演は1題あたり発表時間9分,討議6分,合計15分です,発表には,PCプロジェクターのみ使用できます,PCプロジェクターを使用する場合,コンピュータは各講演者をご準備下さい。

記

特別講演

1. 日時：3月7日(火) 15:00－17:15
2. 場所：講堂(第2教室棟2F)
3. プログラム：
司会：西谷隆亘(法政大学)
特別講演「水文観測－その歴史と現状、ならびに将来の展望－」
木下武雄((株)水文環境・代表取締役)
特別講演「ADCP(超音波流速計)によりうかがわれる洪水時の流れ構造」
木下良作(工学博士・元 自由学園研究員)
4. 参加方法：参加無料,自由参加,(事前申込みは不要です,当日会場へ直接ご来場下さい),一般からのご参加を歓迎致します。

河川災害に関するシンポジウム

1. 日時：3月6日(火) 15:00－17:30
2. 場所：マルチメディアホール(西館B1F)
3. 共催：自然災害研究協議会・土木学会水工学委員会
4. 参加方法：参加無料・自由参加(事前申込みは不要です,当日会場へ直接ご来場下さい)
5. プログラム：
司会：立川康人(京都大学)
1) 平成18年7月豪雨による九州の災害の特徴と今後の課題
小松利光(九州大学)
2) 降水レーダから観測した平成18年7月豪雨
森山聡之(崇城大学)
3) 平成18年7月豪雨による災害の特徴 ー長野県における被害を中心としてー
牛山素行(岩手県立大学)

第19回アゲールシンポジウム

1. 日時：3月6日(火) 15:00－17:30
2. 場所：W103教室(西館1F)
3. 主催：水工学委員会地球環境水理学小委員会
4. 参加方法：参加無料・自由参加(事前申込みは不要です,当日会場へ直接ご来場下さい)
5. プログラム：
《テーマ:日本の経験はアジアで活かされるか ー水工学の貢献と課題ー》
1) 開会の挨拶
村上正吾(国立環境研究所)
2) 日本の経験はアジアで活かされるか ー水工学の貢献と課題ー
大町利勝(八千代エンジニアリング(株))
3) メコン河に見る水との付き合い方 ー水利用と被害
風間 聡(東北大学)
4) 准河流域の水環境問題に日本の経験をどう活かすか
村上正吾(国立環境研究所)
5) 総合討議(司会 村上正吾)

交流会

1. 日時：3月7日(水) 17:30－19:30
2. 場所：マルチユースホール(教室棟B1F)
3. 会費：一般：5,000円, 学生：2,000円
4. 参加方法：3月6日(火)10:00ー 講演会総合受付にてお申し込み下さい。

第1日目　3月6日(火)	
第1会場（西館B1F　マルチメディアホール）	
9:45-10:05	
開会式	開会挨拶：水工学委員会委員長　辻本哲郎（名古屋大学） 水工学論文賞・論文奨励賞,国際セッション優秀論文賞　表彰式
10:15-11:50	
国際セッション・水循環	座長：竹内邦良（山梨大学）
Keynote Lecture 1	
WATER RELATED ISSUES IN THE ASIAN RIVER BASINS	
	Kengo SUNADA (Yamanashi University)
1 ASSESSMENT OF ENERGY BUDGET IN WEATHER FORECASTING GENERAL CIRCULATION MODELS	
	○Mohamed RASMY・Surendra Prasad RAUNIYAR・Katsunori TAMAGAWA・Kun YANG・Toshio KOIKE
2 NUMERICAL AND EXPERIMENTAL STUDY ON LANDSLIDE DAM FAILURE BY SLIDING	
	○Ripendra AWAL・Hajime NAKAGAWA・Yasuyuki BABA・Raj Hari SHARMA
3 NUMERICAL SIMULATION OF CONTAMINANT REMOVAL DURING AIR SPARGING	
	Nenad JACIMOVIC・Takashi HOSODA・○Kiyoshi KISHIDA・Marko IVETIC
4 MODELING OF BIOLOROGICALLY MEDIATED REDOX PROCESSES USING SAWDUST AS A MATRIX	
	○Osama ELJAMAL・Kenji JINNO・Tosao HOSOKAWA
5 NUMERICAL MODELING FOR ASSESMENT OF CONTAMINANT VERTICAL DISTRIBUTION UNDER PARAMETER UNCERTAINTIES	
	○Budi KURNIAWAN・Kenji JINNO
13:00-14:45	
国際セッション・PUB	座長：陸　晏旻（長岡技術科学大学）
6 EVALUATION OF THE INFLUENCE OF UNCERTAINTY IN RAINFALL AND DISCHARGE DATA ON HYDROLOGICAL MODELING	
	○Khada Nanda DULAL・Kuniyoshi TAKEUCHI・Hiroshi ISHIDAIRA
7 THE ASSESSMENT OF SPATIAL TRANSFERABILITY OF A DISTRIBUTED HYDROLOGICAL MODEL PARAMETERS IN DIFFERENT PHYSIOGRAPHIC REGIONS OF NEPAL	
	○Sangam SHRESTHA・Khada Nanda DULAL・Satish BASTOLA・Hiroshi ISHIDAIRA・Futaba KAZAMA・Kuniyoshi TAKEUCHI
8 AN IMPROVED FRAMEWORK FOR THE PARAMETERS REGIONALIZATION OF HYDROLOGICAL MODEL	
	○Satish BASTOLA・Kuniyoshi TAKEUCHI・Hiroshi ISHIDAIRA
9 IDENTIFICATION OF MODEL STRUCTURAL STABILITY THROUGH COMPARISON OF HYDROLOGIC MODELS	
	○Giha LEE・Yasuto TACHIKAWA・Kaoru TAKARA
10 SNOWMELT RUNOFF ANALYSIS IN THE MOUNTAINOUS BASIN OF IRAN WITH LACK OF SNOW OBSERVATIONS	
	○Ali CHAVOSHIAN・Hiroshi ISHIDAIRA・Kuniyoshi TAKEUCHI
11 ENERGY BALANCE SNOWMELT MODELING FOR DATA-POOR BASINS	
	○Mikhail GEORGIEVSKY・Kuniyoshi TAKEUCHI・Hiroshi ISHIDAIRA
12 RECURSIVE UPDATING OF DISTRIBUTED STATE VARIABLES USING OBSERVED DISCHARGES THROUGH KALMAN FILTER	
	○Sunmin KIM・Yasuto TACHIKAWA・Kaoru TAKARA
15:00-17:30	
河川災害シンポジウム　司会:立川廉人（京都大学）	
第2会場（西館2F　W202教室）	
10:15-11:45	
大気乱流	座長：浅沼　順（筑波大学）
41 乱流組織構造の抽出法に関する検討	
	○廣岡　智・稲垣厚至・神田　学
42 屋外都市スケールモデルで観測された乱流統計量の鉛直分布	
	○稲垣厚至・神田　学
43 屋外都市スケールモデルにおける降雨中遮断蒸発実験	
	○仲吉信人・森脇　亮・神田　学
44 EVALUATION OF SIMPLE URBAN ENERGY BALANCE FOR MESO-SCALE SIMULATION (SUMM) TO REAL URBAN FIELDS	
	○Mohammad Kholid RIDWAN・Toru KAWAI・Manabu KANDA・Ryo MORIWAKI
45 大規模屋外模型都市実験による熱収支の検討	
	○河合　徹・神田　学
46 都市キャンपीーにおける温位・CO ₂ ・H ₂ Oの鉛直分布と鉛直拡散係数	
	森脇　亮・○森泉孝信・神田　学

13:15-14:45	
降水	座長:大石　哲（山梨大学）
53 夏季インドモンスーン域における降水予測可能性	
	○山田朋人・鼎信次郎・沖　大幹
54 実スケール雲物理実験における時空間変化する粒子数濃度と雲水量の関係	
	○笹尾将登・土屋修一・山田　正
55 最新型Cバンド偏波レーダを用いた降雨量推定精度の検証	
	中北英一・○竹畑栄伸・中川勝広
56 マルチリモートセンシング観測値の3次元変分法に基づくデータ同化	
	○杉本聡一郎
57 地形性降雨を導入したレーダー及びGPV情報を用いた台風性降雨予測手法の開発	
	中北英一・○足立　充・北井　剛
58 レーダー雨量の地上観測雨量補正に伴う誤差の評価について	
	○熊倉俊郎・中井専人

第3会場（西館2F　W203教室）	
10:15-12:00	
開水路流れ(1)	座長:村上正吾（国立環境研究所）
107 開水路植生流れにおける組織渦のLES解析	
	山上路生・○岡本隆明・楠津家久
108 低水路沿いの樹木が複断面蛇行水路の洪水流の挙動に及ぼす影響	
	重枝未玲・朝佐孝二・坂本　洋・西尾　崇・秋山壽一郎・○石原　仁・樋口直樹・徳永智宏
109 複断面開水路流れの斜昇流と高水敷上に形成された組織構造の相互関係	
	渡辺勝利・○森山拓士・佐賀孝徳
110 水面変動を考慮したLESによる側岸凹部を有する開水路流れの解析	
	○門谷　健・藤田一郎・椿　涼太・松原隆幸
111 複断面河道における洪水流の伝播機構	
	福岡捷二・佐藤宏明・○出口桂輔
112 橋脚部周辺における局所洗掘現象の再現性に関する数値計算モデルの比較	
	○梶川勇樹・楢谷　治
113 松浦川アザメの瀬の流況特性と本川への影響について	
	渡邊訓甫・○平川隆一

13:00-14:45	
流れ・河床の観測技術	座長：藤田一郎（神戸大学）
177 H-ADCPとDIEX法を用いた河川流量計測法の洪水流観測への適用	
	○木本　啓・二瓶泰雄・北山秀飛
178 ランダム計測されたADCPデータの補間法の開発と流れの三次元構造の抽出	
	椿　涼太・○藤田一郎・武藤裕則・萬矢敦啓
179 ADPのボトムトラック機能を用いた砂州周辺の流れと地形計測	
	中田正人・伊福　誠・○塩見政博
180 PIVを用いたフラッシング排砂時の細粒土砂流出過程計測に関する研究	
	角　哲也・○村崎充弘・平　謙二・新房健一・名倉　裕・玉置晴朗
181 浮子観測の洪水流量計測精度に関する基礎的検討	
	○原田靖生・二瓶泰雄・酒井雄弘・木本　啓
182 現地洪水流の表面ビデオ映像に対するLSPIV解析の適用要領	
	○岡部健士・藤田一郎・椿　涼太・和久田敦志
183 実体視と相関解析の併用による洪水航空写真解析の効率化	
	○箕浦靖久・石川忠晴・吉田圭介

第4会場（西館2F　W213教室）	
10:15-12:00	
流砂	座長:関根正人（早稲田大学）
145 簡易試験装置を用いた粘性土上の浸食実験とその試験法に関する研究	
	○西森研一郎・関根正人・樋口敬芳
146 貯水池に堆積した微細粒土砂の浸食特性に関する研究	
	角　哲也・○井口真生子
147 温度計測に基づく感潮河道の底泥浸食過程に関する研究	
	横山勝英・○金子　祐・高島創太郎
148 転倒マス型セディメントトラップに基づく土砂沈降量の連続計測	
	○今清水雄一・二瓶泰雄
149 球状粗度河床における非ニュートン流体流れについて	
	○崔　志英・大本照憲・馬場太郎
150 高濃度流れの相変化に関する実験的研究	
	○伊藤隆郭・江頭進治
151 天然ダムの決壊に伴う洪水流出の予測手法に関する研究	
	○里深好文・吉野弘祐・水山高久・小川紀一郎・内川龍男・森　俊勇

13:30-14:45	
土砂生産・土砂流出	座長:中川　一（京都大学）
152 黄河中流支川における土砂輸送と抵抗則に関する研究	
	橋本晴行・○高岡広樹・池松伸也
153 面積高度曲線に基づいた流域特性と土砂流出特性に関する考察	
	○大橋慶介・藤田裕一郎
154 山地流域における地質成因に着目した土砂生産と河道堆積土砂の移動実態について	
	○村上泰啓・山下彰司
155 月間降雨量に基づくニューラルネットワークを用いたダム堆砂量予測	
	○森本　稔・坂田洋次郎・門田章宏・鈴木幸一
156 2005年台風14号により大分県竹田市で発生した斜面崩壊に関する数値シミュレーション	
	○堤　大三・藤田正治・林雄二郎

第5会場（西館3F　W303教室）	
10:15-12:00	
河川植生	座長:清水義彦（群馬大学）
205 河畔林葉面積指数の季節変動を考慮した日射遮断機能のモデル化	
	○吉田貢士・塩沢　昌・戸田　修・宗村広昭・丹治　肇
206 流れによる変形や振動を考慮した河道内植生に作用する流体力と抵抗則の評価	
	○林建二郎・今野政則
207 小河川に形成されたミクリ群落による有機土壌堆積の機構および生長促進への影響	
	小池直行・狩野正治・○浅枝　隆・藤野　毅
208 土壌の違いがツルヨシの生長に与える影響と出水時の匍匐茎の役割	
	坂本健太郎・木村皓平・浅枝　隆・○西村達也
209 シナダレスズメガヤの繁茂量の違いを考慮した土砂移動限界の変化および洪水時流失条件の評価	
	○八木澤順治・田中規夫
210 洪水攪乱影響の違いがツルヨシの形態的特徴と繁茂量・拡大幅に与える影響	
	○青木信哉・田中規夫・八木澤順治
211 毎木調査と多時期植生図GISデータによる侵略的外来種ハリエンジュの植生変遷解析	
	○高橋俊守・皆川朋子

13:15-14:45	
河川環境魚類	座長:前野詩朗（岡山大学）
212 静止流体中の魚の突進速度に関する実験的研究	
	鬼東幸樹・秋山壽一郎・飯國洋平・○山本晃義
213 杭水制内外の流れと魚の挙動	
	高水克哉・○栗原朋之・青木宗之・内山文哉・福井吉孝
214 階段式魚道における切り欠き位置が魚の遡上率に及ぼす影響	
	鬼東幸樹・秋山壽一郎・木内大介・高橋康行・○飯國洋平
215 自然河川流下水を用いたスタミナトンネルによるオイカワの突進速度に関する現地実験	
	泉　完・○矢田谷健一・東　信行・工藤　明・加藤　幸
216 階段式魚道における流量変化に伴うブル毎の流況およびウグイの遡上行動	
	○浪平　篤・後藤眞宏・小林宏康
217 物理生息場モデルを用いた一時的水域内の物理環境特性が魚類生息に与える影響の評価	
	○傳田正利・天野邦彦・辻本哲郎

15:00-17:30	
アゲルシンポジウム（西館1F　W103教室）　司会:村上正吾（国立環境研究所）	

第2日目　3月7日(水)	
第1会場（西館B1F　マルチメディアホール）	
8:30-10:00	
浸透	座長:江種伸之（和歌山大学）
74 プリント基板プローブを用いたTDRと画像解析による不飽和ー不均一場における水分動態解析	
	○中川　啓・関岡洋志・前川陽介・初井和朗・北村良介
75 山腹斜面におけるバイブーマトリクス流連成モデルの開発	
	○安　賢旭・市川　温・堀　智晴・椎葉充晴
76 地下水涵養施設による塩水侵入制御	
	○宮城昌和・風間　聡・沢本正樹
77 河川から地下水への浸透過程のモデリングと新たな伏流強度評価式の提案	
	○原田守博・谷口将一・鈴木裕幸
78 花崗岩地帯における水文調査・観測と水収支解析結果に基づく水循環機構の分析	
	○才田　進・神野健二・濱里　学・飯島康夫
79 熱・水循環系統合モデルの構築　―熱・流体移動の定式化と解析的検討―	
	○稲葉　薫・登坂博行・平井　卓・吉岡真弓

10:10-11:40	
地下水	座長:坂本　康（山梨大学）
80 水素・酸素同位体を用いた屋久島における温泉水の起源推定	
	○横田恭平・井伊博行・谷口正伸・平田健正
81 有明海沿岸域の佐賀県太良町大浦沖における海底地下水湧出と栄養塩の輸送	
	○安元　純・広城吉成・高岡秀明・古市久士・松原英隆・神野健二
82 空間濃度分布と空間モーメント解析による分散長推定	
	井上一哉・○正木一平・小林　晃・田中　勉
83 帯水層における塩素化エチレン類の自然減衰特性解析	
	江種伸之・○丹波　豊・山本秀一・平田健正
84 地下水汚染問題における濃度分布の確率的評価手法に関する基礎的研究	
	○齋藤雅彦
85 IP理論のもとづく空隙中DNAPL残存特性の基礎的研究	
	○佐々木孝・佐藤邦明

13:15-14:45	
国際セッション・降水	座長:中北英一（京都大学）
13 A SIMPLE SCALING CHARACTERISTICS OF RAINFALL IN TIME AND SPACE TO DERIVE INTENSITY DURATION FREQUENCY RELATIONSHIPS	
	○Le Minh NHAT・Yasuto TACHIKAWA・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA
14 EVALUATION OF THE QUANTILES OF THE NEYMAN-SCOTT RAINFALL MODEL	
	○Carlo Arturo MONDONEDO・Yasuto TACHIKAWA・Kaoru TAKARA
15 SYNTHETIC GENERATION OF MONTHLY RESERVOIR INFLOWS BY AN INPUT DELAYED NEURAL NETWORK	
	○Camilo A. S. de FARIAS・Koichi SUZUKI・Akihiro KADOTA・Alcigeimes B. CELESTE
16 LONG-RANGE TRANSPORT AND TRANSFORMATION OF ACIDIFYING SUBSTANCES OVER EAST-ASIA	
	○Meiyun LIN・Taikan OKI・Magnus BENGTTSSON
17 PREDICTION SKILL ASSESSMENT OF NWP MODELS IN SIMULATING DIURNAL CYCLE OF PRECIPITATION	
	○Surendra Prasad RAUNIYAR・Mohamad RASMY・Katsunori TAMAGAWA・Kun YANG・Toshio KOIKE
18 4DDA OF RADAR ECHO AND DOPPLER VELOCITY BY AN ATMOSPHERIC MODEL WITH A CONCEPTUAL PRECIPITATION MODEL	
	○Eiichi NAKAKITA・Yukihisa SATO・Kensuke TAKENOUCHI

第2会場（西館2F W202教室）	
8:30-10:00	
開水路流れ(2)	座長:大本照憲（熊本大学）
114 連結石礫の流体力評価に関する研究	
	前野詩朗・藤原実咲・富田晃生・山村　明・○梓熊公子
115 階段を流下する空気混入流中の物体の抗力係数	
	○高橋正行・安田陽一・大津岩夫
116 開水路乱流に与える球状粗度の影響について	
	大本照憲・○馬場太郎・崔　志英
117 平坦河床上に発生する弱跳水の水面変動および河床圧力変動の特性	
	鬼東幸樹・秋山壽一郎・重枝未玲・尾関弘明・○後藤伸一・白石達郎
118 沈水状態の植生群落を伴う開水路流れの抵抗特性と流動機構	
	○田中貴幸・大本照憲・田中寿幸
119 水中に没した円柱周辺の河床変動に関する実験的研究	
	○武藤裕則

10:10-12:10	
開水路流れ(3)	座長:富永晃宏（名古屋工業大学）
120 PIV計測による連続かぶり蛇行流れにおける組織乱流構造の実験的解明	
	山上路生・○Hoang Quang・楠津家久
121 水制周辺部の浅水流可視化実験と平均的・組織的流れ構造に関する研究	
	○門田章宏・鈴木幸一
122 わんどの水交換に及ぼす連絡水路形状の影響	
	富永晃宏・○北村福太郎
123 ADCPデータに基づく大河川洪水流の更正係数に関する検討	
	○酒井雄弘・二瓶泰雄
124 ブランチブロック護岸模型周辺の流況特性	
	○渡辺勝利・吉村隆顕・原　隆
125 霞堤周辺流れの水利特性に関する実験的検討	
	○川中龍児・石垣泰輔・島田広昭
126 排水機能を持つ堤防裏法尻保護工に関する実験的検討	
	○奥田浩司・高橋迪夫・山崎　僚・小澤徳雄・三浦　剛
127 格子状構造物の塩水遡上速度への影響	
	○吉川泰弘・安田浩保・渡邊康玄

13:45-14:45	
積雪・融雪	座長:立川康人 (京都大学)
59 400MHz帯ウィンドプロファイラおよびCOBRAを用いた融解層上層の粒径分布推定手法の開発	○北村康司・中川勝広・関澤信也・花土 弘・高橋暢宏・井口俊夫
60 積雪重量計を用いた積雪層の観測について	○谷瀬 敦・山下彰司
61 地域別に見た気候変動に対する積雪水資源脆弱性	○那須貴之・風間 聡・沢本正樹
62 融雪に起因する土砂災害のリスクモデル	川越清樹・風間 聡・○沢本正樹

第3会場 (西館2F W203教室)

9:00-10:30	
数値解析 (1)	座長:藤田裕一郎 (岐阜大学)
128 水力発電取水路内過流の数値シミュレーション	○中山昭彦・竹内建造・久末信幸・○松村友宏
129 境界埋め込み法を取入れたLESによる開水路棧粗度乱流場の上昇剥離渦の解析	○吉村英人・藤田一郎
130 棧粗度中を進行する氾濫流先端部のモデリング	○多田 毅・富岡秀吉
131 ドライ・ウェット状態となる地形起伏がある場での氾濫流の数値シミュレーション	○重枝未玲・秋山壽一郎・重岡広美
132 四面体サブセル法を用いる市街地に流入する氾濫流の3次元数値計算	牛島 省・○牧野統師・榊津家久
133 ニューラルネットワークと数値解析による高潮現象のハイブリッドリアルタイム予測	○天羽誠二・中野 晋・木村剛士・津川 茂

10:40-11:55	
数値解析 (2)	座長:河原能久 (広島大学)
134 二次元及び三次元RANSモデルによる浅水格子乱流の数値解析	○木村一郎・W.S.J.Ujttewaal・細田 尚
135 円筒座標でCIP-Soroban法を拡張した蛇行河川の浅水流計算法	○吉田圭介・石川忠晴
136 非圧縮性流体計算法 (MACS)を用いた浅水流方程式による常射流の数値計算	○牛島 省・福谷 彰・山下英夫・榊津家久
137 捨石透過水制を配した開水路における流れと河床変動	○李 最森・道奥康治・前野詩朗・和中隆志
138 勾配の異なる急勾配河川合流部における固定床および移動床の解析	○出口 恭・藤田一郎・椿 涼太・大藪政志

13:15-14:45	
数値解析 (3)	座長:大串浩一郎 (佐賀大学)
139 流木形状を考慮した個別要素法による橋脚周辺の流木集積過程に関する数値実験	○清水義彦・長田健吾
140 山地橋梁の流木閉塞過程の3次元シミュレーション	後藤仁志・五十里洋行・酒井哲郎・○奥 謙介
141 倒木を伴う急傾斜地崩壊災害の3次元個別要素法による数値シミュレーション	原田英治・後藤仁志・酒井哲郎・○合田健一
142 3次元流体中を移動する任意形状物体の数値解析手法	牛島 省・○福谷 彰・藤岡 奨・榊津家久
143 固液混相流型粒子法による排砂水路底面の摩耗過程のシミュレーション	○五十里洋行・後藤仁志・酒井哲郎
144 数値流体計算によるスロッシング現象と減衰ネット効果の再現性に関する研究	野田 博・○中山昭彦・立見栄司・中南滋樹

第4会場 (西館2F W213教室)

8:45-10:15	
河床・河道変動 (1)	座長:竹林洋史 (徳島大学)
157 1次元河床変動解析に関する実測データに基づく考察	○新庄高久・藤田裕一郎・大橋慶介
158 平衡・非平衡流砂モデルによる水制周辺の局所洗掘に関する数値解析	○音田慎一郎・細田 尚・木村一郎・岩田道明
159 平面2次元河床変動モデルによるフラッシング排砂時の水みち形成プロセスの数値解析	重枝未玲・秋山壽一郎・小牧貴大・○才木康裕
160 河口砂州フラッシュの再現計算と要因分析	佐川拓也・○大谷靖郎・市川真吾・武内慶了・山下武宣
161 吉野川河口における河床変動要因の解析	○宇野宏司・中野 晋・辻本剛三・柿木哲哉
162 砂州による洪水流下能力の低下と治水上の危険性評価に関する研究	ー阿賀野川河口砂州を対象としてー
	○細山田得三・田安正茂・Pujiraharjo Alwafi・佐藤啓明

10:25-12:10	
河床・河道変動 (2)	座長:藤田正治 (京都大学)
163 礫・シルト充填河床モデルを用いた礫河道の準二次元河床変動解析	○関根正人・林 将宏
164 浸透が卓越する場に形成される堆積地形に関する数値解析	○小笠原基・関根正人
165 拡幅水路における粒径分布変化と河床変動に関する実験および1次元解析	○中西 哲・長谷川和義・高橋圭吾・阿部裕太
166 谷底平地における流路形状の分析と地形の成因	○野上 毅・渡邊康玄・安田浩保・長谷川和義
167 筑後川の河床変動要因と土砂動態の変遷	横山勝英・鈴木伴征・○味元伸親
168 斐伊川河口部における水位上昇の原因とその発生メカニズムに関する考察	○船橋昇治・渡辺 茂・福岡捷二
169 常流移動床分岐水路における河床不安定に関する研究	○守屋 薫・長谷川和義・小林賢也

13:00-14:45	
河床形態	座長:渡邊康玄 (土木研究所寒地土木研究所)
170 デューンの不安定現象に対する流砂の非平衡性の影響	○山口里実・泉 典洋
171 混合距離モデルを用いた河床デューンの弱非線形安定解析	○泉 典洋
172 浸透流の砂面擾乱の不安定性に及ぼす影響について	○村上正吾・辻本哲郎
173 混合砂河床における交互砂州の変動特性	○竹林洋史・江頭進治
174 中規模河床波の低流量時における形状変化過程に関する水理実験	○渡邊康玄・安田浩保・島田友典
175 初期河床に与える微小擾乱が砂州の発達及び砂州形状に及ぼす影響について	○小林健介・清水康行・Sanjay GIRI・渡邊康玄
176 交互砂州河床の変動に及ぼす流量・土砂供給条件の影響	○三輪 浩・大同淳之・片山智仁

第5会場 (西館3F W303教室)

8:30-10:15	
河川水質 (1)	座長:島谷幸宏 (九州大学)
184 酸素・水素安定同位体比による釧路湿原内の湧水の起源推定	○北野梓沙・井伊博行・今泉真之・土原健雄・谷口正伸
185 流域水温の連続観測と解析	○宮本仁志・道奥康治
186 河川下流域の土砂動態に着目した富栄養化湖沼の流入負荷特性に関する検討	二瓶泰雄・○大関雅丈・福地正宗
187 ダム下流の河川生態系への有機物供給に関する研究	○対馬孝治・天野邦彦・傳田正利・時間利和
188 相模川感潮域における溶存酸素濃度の変動と栄養塩濃度に関する現地観測	西村政倫・○藤原弘和・黄 光偉・佐藤愼司
189 道頓堀川の水質変動特性と水質管理についての調査解析	○入江政安・西田修三
190 堀川の流れと水質に関する現地調査	武田 誠・○松尾直規

10:25-12:10	
河川水質 (2)	座長:知花武佳 (東京大学)
191 下水道による水輸送過程を考慮したWEPモデルの都市流域への適用	○宮本 守・木内 豪
192 降雨の確率特性を考慮した雨水貯留施設の汚濁負荷削減効果に関する検討	○和田有朗・岸本宏司・道奥康治
193 淀川流域圏の水環境と大阪湾への影響解析	西田修三・○北畠大督・入江政安
194 ICタグによる個体識別技術を用いた落葉動態観測	○船田 晋・吉村千洋・石平 博・竹内邦良
195 引田湾に隣接する森林流域からの物質流出機構と流出負荷量	○田村隆雄・端野道夫・末永慶寛・星川 豪
196 松山平野における土地利用別土壌からの水質汚濁関連物質の挙動に関する基礎的研究	○西村文武・島田高伸・増田理子・渡邊政広
197 阿武隈川流域における平常時の水質と栄養塩負荷の実態	○木内 豪・虫明功臣

13:00-14:45	
河川水質 (3)	座長:萱場祐一 (土木研究所)
198 メコン河下流域における土砂・栄養塩動態の推定について	○柿澤一弘・宮沢直季・砂田憲吾
199 水理氾濫モデルを用いた水系感染症患者数の季節変動解析	○相澤寿樹・風間 聡・渡部 徹・沢本正樹
200 太田川河口域における有機泥の循環に関する基礎的研究	長戸宏樹・○越智達郎・日比野忠史・福岡捷二
201 河川源流域における硝化細菌群の生息に影響を及ぼす要因	○藤田昌史・吉野宏美・芳賀弘和・西田 継・坂本 康
202 長良川河口堰上流水域における植物プランクトンの増殖に関する研究	ーモニタリングデータを用いた解析ー
	○丸山治朗・武村 武・中井正則・有田正光
203 砂河川における付着藻類の空間分布に関する研究	○戸田祐嗣・多田豊由紀・辻本哲郎
204 筑後川上流域におけるダム放流量増加が付着藻類に与える影響	○齋藤正徳・河口洋一・矢野真一郎・井芹 寧・黨秀治郎・島谷幸宏・緒方 健・山崎正敏・清野聡子

講堂 (第2教室棟2F)

15:00-17:15	
特別講演	
「水文観測－歴史と現状、ならびに将来の展望－」	木下武雄
「ADCP (超音波流速計) によりうかがわれる洪水時の流れ構造」	木下良作

第3日目 3月8日 (木)	
第1会場 (西館B1F マルチメディアホール)	
8:30-10:20	
国際セッション・環境	座長:石川忠晴 (東京工業大学)
Keynote Lecture 2	
NUTRIENT-SEDIMENT LOADS FROM FOREST CATCHMENTS AND THEIR INFLUENCE ON LAKE AND RESERVOIR EVTROPHICATION	Kohji MICHIOKU (Kobe University)
29 NUMERICAL SIMULATION OF INTERNAL WAVES USING A SET OF FULLY NONLINEAR INTERNAL-WAVE EQUATIONS	○Taro KAKINUMA・Keisuke NAKAYAMA
30 APPLICABILITY OF MPS METHOD TO BREAKING AND POST-BREAKING OF SOLITARY WAVES	○Abbas KHAYYER・Hitoshi GOTOH
31 EXAMINATION OF RIFFLE BEDS AND THEIR RELATIONSHIP TO THE NET-SPINNING CADDISFLY (<i>STENOPSYCHE MARMORATA</i>)	○Takeyoshi CHIBANA・Todd Brackett
32 NITROGEN UPTAKE AND LEAF NITROGEN CONTENT OF PHRAGMITES JAPONICA	○Thi Khanh Chi BUI・Yuji TODA・Tetsuro TSUJIMOTO
33 A PRACTICAL APPROACH TO THE ESTIMATION OF POLLUTANT LOAD FROM OPTICAL SENSOR MEASUREMENT	○Minghuan LIU・Tadaharu ISHIKAWA・Kenji YOSHIMI・Eiji KUNIHIRO
34 DEVELOPMENT OF A CONCEPTUAL MODEL FOR DISSOLVED OXYGEN CONCENTRATIONS CONSIDERING FLOOD EVENT EFFECTS IN TOKYO BAY	○Chizuru SATO・Keisuke NAKAYAMA・Yosuke YAMASHIKI・Toshiyuki KANESASHI・Kensuke MIYAZAWA

10:30-12:05	
国際セッション・河床土砂	座長:泉 典洋 (北海道大学)
Keynote Lecture 3	
NUMERICAL MODELING OF MICROSCALE AND MESOSCALE BED-FORMS UNDER UNSTEADY DISCHARGE	Yasuyuki SHIMIZU (Hokkaido University)
19 ESTIMATION OF RIVER SEDIMENT CONCENTRATIONS DURING HYDROLOGIC EVENT	○Guoqiang WANG・Qing FU・Kuniyoshi TAKEUCHI・Hiroshi ISHIDAIRA
20 RELATION BETWEEN RESERVOIR SEDIMENTATION AND DEFORMED AREA IN THE OMARU RIVER WATERSHED	○Donny HARISUSENO・Hiroyuki SUMOTO・Chikashi DEGUCHI・Hiromitsu TAKEDA・Satoru SUGIO・Keisuke MURAKAMI

21 A METHOD FOR DETECTING THE SOURCE OF SEDIMENTATION USING MINERAL COMPOSITION IN SENGGURUH BASIN, INDONESIA	○Dian Sisinggih・Satoru OISHI・Kengo SUNADA
22 BED DEFORMATION AROUND GROINS IN A RIVER RESTORATION PROJECT	○Hao ZHANG・Hajime NAKAGAWA・Yasunori MUTO・Yoshio MURAMOTO・Daizaburou TOUCHI
23 POROSITY OF SEDIMENT MIXTURES WITH DIFFERENT TYPE OF GRAIN SIZE DISTRIBUTION	○Muhammad SULAIMAN・Daizo TSUTSUMI・Masaharu FUJITA

13:10-14:45	
国際セッション・水理	座長:清水康行 (北海道大学)
Keynote Lecture 4	
HYDRO – AND MORPHO – DYNAMICS AT RIVER ENTRANCES	Hitoshi TANAKA (Tohoku University)
24 VALIDATION OF A NUMERICAL MODEL FOR FLOW AND BED-FORM DYNAMICS	○Sanjay GIRI・Yasuyuki SHIMIZU
25 FLOW AND SEDIMENT TRANSPORT AROUND BANDALS UNDER LIVE-BED SCOUR CONDITION	○Muhammad RASHEDUZZAMAN・Hajime NAKAGAWA・Hao ZHANG・Md. Munsur RAHMAN・Yasunori MUTO
26 FICTTTIOUS-DOMAIN SIMULATION OF SOLID-LIQUID FLOW WITH "SUBGRID" LUBRICATION FORCE CORRECTION; A SPHERE FALL-ING ONTO A PLANE SURFACE	Y.NGUYEN・○John WELLS・Hung TRUONG
27 FICITTIIOUS-DOMAIN SIMULATIONS OF BEDLOAD TRANSPORT; FREE-SURFACE FLOW IN A ROTATING TUMBLER	○Hung TRUONG・Anh NGUYEN・Hiroyuki SUGIMOTO・John WELLS
28 A NEW DERIVATION OF HORIZONTAL TWO DIMENSIONAL DEPTH AVERAGED MOMENTUM EQUATION AND CONTINUITY EQUATION, WHICH INCLUDE TOTAL EFFECT OF POROSITY INSIDE THE VEG-ETATION	○Napayalage NANDASENA・Norio TANAKA・Toshimitsu TAKAGI

14:50	
閉会式	

第2会場 (西館2F W202教室)

9:00-10:30	
流出 (1)	座長:山田 正 (中央大学)
63 流域の地理条件が流況曲線形状に与える影響	○横尾善之・有働恵子
64 新しい流況曲線の提案に関する基礎的研究	○真名子武・手計太一・平野文昭
65 環状七号線地下調節池のピーク流量低減効果と降雨特性による治水安全度の評価	○石森久仁子・土屋十罔
66 御笠川流域における土地利用の変遷に伴う洪水流量の変化に関する研究	○大八木豊・大槻順朗・杉本知佳子・島谷幸宏・江崎哲郎・朴 埼璨
67 モンゴル東部ヘルレン川流域の水収支	○上米良秀行・陸 旻皎
68 気象庁メソ予報モデルGPVを用いた日本城河川流量予測システムの構築と検証	○芳村 圭・岡澤 毅・Hyungjun KIM・瀬戸心太・小岩祐樹・沖 大幹・鼎信次郎

10:40-11:55	
流出 (2)	座長:椎葉充晴 (京都大学)
69 最適化手法による分布型降雨流出モデルのパラメータ推定	○小林健一郎・寶 馨・立川康人
70 フィルター分離AR法による熱帯河川流域の流出解析と流出特性について	○川島 隼・鈴木善晴・長谷部正彦
71 降雨流出における流域スケールに応じた斜面と河道の効果に関する研究	○呉 修一・下坂将史・山田 正
72 温暖化が水資源に及ぼす影響評価における不確実性に関する研究	○藤原洋一・小尻利治
73 地球温暖化に伴う四国地方の洪水リスク評価に関する考察	○和田一範・石井琢哉・櫻井康博

13:15-14:45	
全球水循環	座長:石平 博(山梨大学)
35 特殊センサー・マイクロ波画像装置(SSM/D)による土壌水分の長期観測手法の開発	○太田 哲・小池俊雄・Hui LU・David N.KURIA・筒井浩行・Tobias GRAF・開発一郎・Gombo DAVAA・松浦直人
36 現地調査に基づく衛星解析と陸面過程モデルを用いた中国史灌河流域における水利用推定	○甲山 治・田中賢治・池淵周一
37 東南アジアモンスーンオンセットに対する陸面の役割	○大衆浩司
38 地球規模の気温変動と大気中CO ₂ 濃度変動および太陽活動との相互関係に関する研究	○長谷部正彦・鈴木善晴・富永綾乃
39 温暖化時の水資源影響評価のための全球統合水資源モデルの開発	○花崎直太・内海信幸・山田智子・沈 彦俊・Magnus BENGTSSON・鼎信次郎・大瀧雅寛・沖 大幹
40 季節変動を再現する河川流量計算モデルの開発と全球水不足評価	○増富祐司・花崎直太・高橋 潔・脇岡靖明・松岡 譲
第3会場(西館2F W203教室)	
9:00-10:30	
水文統計	座長:葛葉泰久(三重大学)
47 水平領域規模を考慮した気象要素と降雨の抽出	○西山浩司・神野健二
48 鉄道と気象庁の降水量データを用いた大雨の標高依存性の解析	○鈴木博人・中北英一
49 自己組織化マップを用いたシステムパラメータの感度解析	○井芹慶彦・神野健二・里村大樹・Bellie SIVAKUMAR・西山浩司
50 アンサンブル実験に基づく東アジア地域の確率年最大降水量の推定	○仲江川敏之
51 年最大日雨量時系列の非定常性を示すトレンドとジャンプの検出について	○中尾隆志・佐渡公明・杉山一郎
52 歴史情報を含む年最大値資料に対する極値統計解析における最尤法モデルの適用	山口正隆・野中浩一・○宇都宮好博
10:40-11:55	
沿岸域の物理・環境(1)	座長:坂井伸一(電力中央研究所)
238 微小振幅波理論に基づく波長の近似計算式の相互比較	山口正隆・○野中浩一
239 BEM-VOF結合解析法の不規則波計算への適用性について	○金 相昊・山城 賢・吉田明徳
240 海洋レーダと海洋鉛直微細構造測定装置による強い沿岸流の表層での混合現象	○長尾正之・橋本英資・高杉由夫・児島正一郎・佐藤健治・森本昭彦・鈴木 淳・渋谷拓郎
241 内湾域における水平流動構造解明に対するDBF海洋レーダの適用性に関する研究	○坂井伸一・坪野考樹・多田彰秀・染矢真作・竹之内健太・水沼道博
242 2006年ジャワ津波災害において海岸林が果たした役割とその破断・なぎ倒し限界	○田中規夫・佐々木卓
13:30-14:45	
沿岸域の物理・環境(2)	座長:西田修三(大阪大学)
243 湖岸植生帯の再生手法に関する検討	宇多高明・見澤正勝・古川秀一・今村史子・○城野裕介
244 スマトラ地震津波によるスリランカ南西部の橋梁被害調査と津波対策の今後の課題	○石野和男・Bandara NAWARATHNA・矢野真一郎・中川 一・田中 仁
245 有明海奥部西岸域における貧酸素水塊発生時の鉛直拡散係数及び酸素消費速度について	○郡山益実・○瀬口昌洋・石谷哲寛・加藤 治
246 有明海湾奥部における残差流の分布について	○大串浩一郎・速水祐一・濱田孝治・山本浩一・平川隆一
247 日本近海でのCO ₂ 海洋隔離における濃度予測及び生物影響	○中村倫明・和田 明・長谷川一幸・落合 実
第4会場(西館2F W213教室)	
8:30-10:00	
氾濫解析	座長:大槻英樹(ニュージェック)
86 急流中小都市河川が貫流する密集市街地での浸水・排水プロセスのシミュレーション	秋山壽一郎・重枝未玲・○津崎周平・重岡広美
87 デカルト座標系を用いた市街地氾濫流シミュレータの構築と竹原市の高潮氾濫への適用	○内田龍彦・河原能久・木梨行宏・伊藤 康
88 氾濫流量の評価と堤内物体群の影響	○秋山壽一郎・重枝未玲・津崎周平

89 下水道システムを考慮した氾濫解析の治水対策への適用	○武田 誠・森田 豊・松尾直規
90 平成18年7月豪雨による松江市内の都市水害に関する数値解析的検討	○川池健司・中川 一・市川 温・丸山寛起
91 都市水害時における小規模地下空間の浸水過程に関する数値解析的検討	○米山 望・間島真嗣・戸田圭一・山本大介
10:10-12:10	
避難行動・住民意識	座長:高木茂知(パシフィックコンサルタンツ)
92 浸水時の地下空間からの避難行動に関する数値シミュレーション	関根正人・○本山量啓・中村 淳
93 OVモデルを援用したDEM型群衆避難行動モデルの提案	原田英治・後藤仁志・○丸山由太
94 地下空間浸水時の避難困難度と利用者の水防意識について	○大西良純・石垣泰輔・馬場康之・戸田圭一
95 平成18年7月豪雨による人的被害の分類	○牛山素行・國分和香那
96 台風0514号時の宮崎県を事例とした地方自治体の防災管理体制の現状とその強化について	○村上啓介・杉尾 哲
97 福岡市における小学生を対象とした水に関するアンケート調査	○遠藤伸一・石川いずみ・神野健二
98 水災害危険度に基づく建築規制政策の費用便益評価に関する研究	○沼間雄介・市川 温・堀 智晴・椎葉充晴
99 車座意見交換会における住民の発言とアンケート調査結果の関連性について	○三阪和弘

13:00-14:45	
河道管理	座長:山下武宣(国土技術政策総合研究所)
100 大野川と乙津川の河道内樹木群が有する治水機能の検討	重枝未玲・朝位孝二・坂本 洋・西尾 崇・秋山壽一郎・○重岡広美・樋口直樹・徳永智宏
101 数値シミュレーションに基づく乙津川の樹木伐採前後の境界混合係数値の検討	重枝未玲・朝位孝二・坂本 洋・西尾 崇・秋山壽一郎・○樋口直樹・石原 仁・徳永智宏
102 洪水流と河道の樹木繁茂形態に基づく樹木群透過係数と粗度係数の算定法	福岡捷二・佐藤宏明・藤澤 寛・○大沼史佳
103 高梁川と小田川の合流点付け替えの効果	○前野詩朗

104 河口砂州高を低減させるための人工リーフを用いた河口処理法の検討	○宇多高明・片山靖浩・森 伸生・高橋 功・古池 鋼・芹沢真澄
105 鳴瀬川河口部における砂州地形変化機構	川村育男・○田中 仁
106 ICタグ技術を応用した砂礫移動に関するトレーサ調査手法の開発	角 哲也・石田裕哉・○佐竹宣憲

第5会場(西館3F W303教室)	
8:30-10:15	
閉鎖性観測	座長:二瓶泰雄(東京理科大学)
218 東京湾における赤潮発生形態の変化	○東 博紀・木幡邦男
219 有明海湾奥部干潟底泥のNH ₄ +吸着特性	○徳永貴久・高橋 篤・松永信博

220 オホーツク海沿岸に点在する海跡湖の湖沼環境 ― 藻琴湖の場合 ―	○早川 博・本島 翼・内島邦秀
221 霞ヶ浦における養浜砂の移動限界水深と安定勾配の検討	○五十嵐昇・横田雅良・太田敦司・村井大介
222 霞ヶ浦浮島地区における湖浜再生に関する検討	宇多高明・木暮陽一・平野一彦・大内香織・三波俊郎・○熊田貴之
223 白丸調整池ダムのSS流出負荷量の変動と濁度の底生動物への影響	○河合真由美・土屋十圀
224 ダム前面に設置したウォールによる流入濁水の排除効果	秋山壽一郎・重枝未玲・安藤祐馬・○小野修平

10:25-12:10	
閉鎖性解析	座長:松尾直規(中部大学)
225 乱流計測データの密度噴流積分モデルへの適用	○楊 宏選・陸 旻皎・熊倉俊郎・早川典生
226 ダム貯水池の水温成層に関する鉛直2次元数値解析	○池上 迅・梅田 信
227 中層貧酸素化の軽減を目的とした貯水池曝気施設の計画	○道奥康治・小谷英之・小林秀典

228 湖沼における内部生産を考慮したCOD水質分布の予測手法に関する基礎的研究	○市木敦之・坂田典久・佐々木暁人・仲倉香菜子・田井義一
229 猪苗代湖周辺表流水のリン,鉄,アルミニウムの挙動	○岡田 啓・井伊博行・長林久夫・山田章子
230 貯水池における水質環境要素と藻類増殖の関連	○梅田 信・富岡誠司
231 選択取水方式の導入が植物プランクトンの鉛直分布と生長環境に及ぼす影響	○牧野育代・寶 馨・立川康人

13:15-14:45	
閉鎖性対策	座長:檜谷 治(鳥取大学)
232 一様な斜面上で碎波する内部ケルビン波により誘起される流れ	中山恵介・○宮澤 功・山敷庸亮・宮澤兼佑・金刺俊之

233 ダム貯水池における選択取水設備を用いた水温成層コントロールに関する研究	矢島 啓・○吉川 栄・石黒 潤
234 マイクロバブルの収縮パターンと電位特性	大成博文・徳重研介・○都並結依・大成博音・山本孝子
235 ゴミ埋立処分場からの浸出水のマイクロバブルによる水質浄化	道奥康治・○釘宮晃一・山田怜奈・伊藤義明・八木正博・中道民広
236 エアレーションによるDO増加過程に気泡径および水質が及ぼす影響の研究	○木俣陽一・京藤敏達・歌川紀之
237 納豆菌群を封入した多孔型コンクリートブロックによる水質浄化能力	松永信博・○増田壮佑・中牟田大嗣・徳永貴久・矢野真一郎・押川英夫・橋本彰博・藤田和夫・古雅雅之・岩下智明・原田敦彦

第51回 水工学講演会(法政大学小金井キャンパス) 発表時間:15分／件、Keynote Lecture: 20分／件、[]内は司会者

	会場		9:45-10:05	セッション1		セッション2	15:00-17:30	18:00-20:00
3月6日(火)	1		開会式(表彰式)	10:15-11:50 国際S・水循環[竹内]Keynote L-1(砂田)+5編		13:00-14:45 国際S・PUB[陸] 7編	河川災害シンポ(マルチメディアホール) アゲールシンポ(W103教室)	水工学委員会(マルチユースホール)
	2			10:15-11:45 大気乱流[浅沼]6編		13:15-14:45 降水[大石] 6編		
	3			10:15-12:00 開水路流れ(1)[村上]7編		13:00-14:45 流れ・河床の観測技術[藤田(一)] 7編		
	4			10:15-12:00 流砂[関根]7編		13:30-14:45 土砂生産・流出[中川(一)] 5編		
	5			10:15-12:00 河川植生[清水(義)]7編		13:15-14:45 河川環境魚類[前野] 6編		

	会場	セッション3	セッション4	セッション5	15:00-17:15	17:30-19:30
3月7日(水)	1	8:30-10:00 浸透[江種] 6編	10:10-11:40 地下水[坂本] 6編	13:15-14:45 国際S・降水[中北] 6編	特別講演(講堂) (1)木下武雄氏 (2)木下良作氏	交流会(マルチユースホール)
	2	8:30-10:00 開水路流れ(2)[大本] 6編	10:10-12:10 開水路流れ(3)[富永] 8編	13:45-14:45 積雪・融雪[立川] 4編		
	3	9:00-10:30 数値解析(1)[藤田(裕)] 6編	10:40-11:55 数値解析(2)[河原] 5編	13:15-14:45 数値解析(3)[大串] 6編		
	4	8:45-10:15 河床・河道変動(1)[竹林] 6編	10:25-12:10 河床・河道変動(2)[藤田(正)] 7編	13:00-14:45 河床形態[渡邊(康)] 7編		
	5	8:30-10:15 河川水質(1)[島谷] 7編	10:25-12:10 河川水質(2)[知花] 7編	13:00-14:45 河川水質(3)[菅場] 7編		

	会場	セッション6	セッション7	セッション8	14:50
3月8日(木)	1	8:30-10:20 国際S・環境[石川]Keynote L-2(道奥)+6編	10:30-12:05 国際S・河床土砂[泉]Keynote L-2(清水(康))+5編	13:10-14:45 国際S・水理[清水(康)]Keynote L-4(田中(仁))+5編	閉会式
	2	9:00-10:30 流出(1)[山田] 6編	10:40-11:55 流出(2)[椎葉] 5編	13:15-14:45 全球水循環[石平] 6編	
	3	9:00-10:30 水文統計[葛葉] 6編	10:40-11:55 沿岸域の物理・環境(1)[坂井] 5編	13:30-14:45 沿岸域の物理・環境(2)[西田] 5編	
	4	8:30-10:00 氾濫解析[大槻] 6編	10:10-12:10 避難行動・住民意識[高木(茂)] 8編	13:00-14:45 河道管理[山下] 7編	
	5	8:30-10:15 閉鎖性観測[二瓶] 7編	10:25-12:10 閉鎖性解析[松尾] 7編	13:15-14:45 閉鎖性対策[檜谷] 6編	

○国際セッション・一般講演会・河川災害シンポジウム・アゲールシンポジウム

第1会場:マルチメディアホール(西館B1F)、第2会場:W202教室(西館2F)、第3会場:W203教室(西館2F)、

第4会場:W213教室(西館2F)、第5会場:W303教室(西館3F)、アゲールシンポジウム会場:W103教室(西館1F)

○特別講演会場:講堂(第2教室棟2F)

○交 流 会 場:マルチユースホール(教室棟B1F)